新聞づくりを支える方へ

小学校4年生ごろを目安とした、比較メモと新聞下書きの使い方

ねらいと進め方

くらしに関わる二つのものを同じ観点で比べ、調べた情報と自分の考えを
分けて表す活動です。答えや完成形は一つではありません。
児童用1ページ目でテーマ・資料・比較メモを整理し、2ページ目で見出しと
文章を考えます。完成記事の見本を写すための教材ではありません。

テーマ選びと情報の確かめ方

図書館の本や博物館などの公開資料から、道具や建物などを選べます。
家族構成、住所、家の中、服装の写真など、本人の生活の開示は求めません。
「和」「洋」は広い区分です。比べる対象と地域・時代・使う場面を具体的にし、
国や地域の全てに当てはめないよう支えます。優劣を決める活動にしません。
本の著者・題名・ページや、サイトの運営者・ページ名・URL・閲覧日を確認。
一つの資料で分からない場合は、別の資料も確かめ、不明点は不明と残します。

書き始めにくいときの支援例

観点を一つに絞り、「何に使うか」などから二つを比べてみます。
相違点だけでなく、共通する点や現在の使い方にも目を向けます。
書く量を減らす、話したことを大人が記録する、調べ直す時間を取るなど、
本人に合う方法を選べます。二枚を一度に仕上げる必要はありません。

読み返すときの確認観点

・同じ観点で比べているか。地域・時代・資料の範囲が伝わるか。
・資料で確認できる情報と、本人の感想や予想が区別されているか。
・出典をたどれるか。資料の文章や写真を無断で写していないか。
・見出しと本文が対応し、読み手に伝わるか。情報量だけで評価しない。

印刷と扱い

A4縦。児童用は2ページ、この案内は1ページです。必要な分を分けて印刷。
教科書本文・挿絵・完成作文は収録していません。特定の教科書に準拠する
教材ではありません。学校の進度や本人の様子に合わせて使用してください。